

文房具大学2

日常生活において、私たちは郵便を利用する際、「切手」といふ料金別納証を貼って、街角にある「ポスト」という集荷箱に、何気なく投函しているが……。

切手が郵便料金の前納システムとして利用開始されたのは、1840年の英國であった。それ以前は、利用者は郵便局に手紙を持参し、郵便局に手紙を出すたびに郵便局へ行かねばならないという不便が生じていた。「切手」という発案は、画期的な大発明だったのです。

世界最初の切手「ペニーブラック」(1840年 英国)

But

今日でも定形外の封筒(註①)を利用したばかりや、80円で送ることのできる重さ(註②)を超えるおそれのある封書については、専用ハカリで計量(このハカリは家庭に

ある調理用では目盛が粗すぎるといつて不適)しないと

料金がわからぬ。そこでわざわざ郵便局へ行くことになります。

A

ショットした定形外の計量に

S

便利なのが、「**ポストスケール**」。

使い方は、古典的にクリップに封筒を吊るし、目盛を読む。目盛りが指示する重量分の切手を貼って郵便局へ出向かなくて大丈夫。上皿式のハカリ(このスタイルで簡易型の個人用もあるが、云々)だし携帯性が無い)と比べ価格も600円と安い。



【註②】国内通常郵便物の料金】'94.1.改正

内容	重量	料金
定形	25gまで	80円
	50gまで	90円
定形外	50gまで	130円
	100gまで	190円

※注: ©1994 集邮社編
A にならぬ。カ何より、テレホンカード大なるので、ハンドバックに入りきりする人には、折って「長4封筒」にまでも定形だヨ。

【註①】市販封筒にみる定形サイズ】

長型	長型4号 = 90 x 205mm (B5判3折が入る)
	長型3号 = 120 x 235mm (A4判3折が入る)
※他に定形郵便物最小規格としては、90x140mmがある。	
洋型	洋型2号 = 114 x 162mm (マストカードが入る)
	洋型4号 = 105 x 235mm (A4判3折が入る)
	洋型5号 = 95 x 217mm (ホテルのレターセットで見かけた)
	洋型6号 = 98 x 190mm (B5判3折が入る)
※他に定形としては、洋型1号・3号・7号などがあるが、市販品も少ないのを除いた。	

【郵便料金】

上表記載の時点より、定形外郵便に関し 50gまで 120 円、100gまで 140 円に値下げになっています (2006 年現在)。